

平成 27 年度「キャリア教育・就労支援等の充実事業」成果報告書

受託団体名	国立大学法人弘前大学
-------	------------

I 概要

1 モデル地域の概要

①モデル地域の種類

	I 型（連携型：特別支援学校高等部及び高等学校の連携）
○	II 型（単独型：特別支援学校高等部のみ）
	III 型（単独型：高等学校のみ）

②モデル校の一覧

設置者	学校種	課程又は障害種	学校名（ふりがなを付すこと）
国	特別支援学校	知的障害	ひろききだいがくきよういくがくふ ふ ぞくとくべつし えんがっこう 弘前大学教育学部附属特別支援学校

2 研究課題

弘前大学教育学部と附属特別支援学校との連携による円滑な就労支援と系統的なキャリア教育の推進に関する研究

3 研究の概要

本研究は、弘前大学教育学部が附属特別支援学校及び関係機関と連携し、大学構内を学習活動の場として提供し、附属特別支援学校の小・中・高等部の児童生徒が計画的、組織的な学習を行い系統的なキャリア教育を推進するとともに、大学や事業所へ円滑に就労するための就労支援システムの構築を図ることを目的としたものである。

4 研究の成果

本年度の研究の成果として次の点を上げることができる。

（１）関係機関との連携の推進

①卒業生のフォローアップの充実と職場開拓

就職支援コーディネーターが障害者就業・生活支援センター職員を帯同し、過去 10 年間の附属特別支援学校卒業生の就労先を巡回することにより、フォローアップの充実が図られるとともに、ハローワークからの紹介により新たな現場実習先及び就職先を開拓することができた。

②地域の特別支援学校等との連携の推進

地域の県立特別支援学校（1 校）及び卒業生の事業所（1 事業所）との連携による学習を実施することで、相互に学び合える機会となった。

③外部専門家の活用

高等部の作業学習で行っている喫茶及び清掃活動において、外部の専門家による指導を受けることで、生徒及び大学に就労している卒業生の

技能及び態度の向上が図られた。

④研修会の実施による障害者雇用の理解推進

関係機関，事業所及び就労している卒業生等を講師に障害者雇用に係る研修会を大学職員，教員，保護者等を対象に2回実施することができ，障害者雇用に関する理解が推進した。

(2) 大学の活用等による小中高一貫したキャリア教育の推進

①大学構内等での学習の実施

附属特別支援学校において，キャリア教育全体計画に基づき，奉仕活動，販売活動，作業学習（喫茶，清掃活動など）などを実施するとともに，高等部生徒から小学部の児童が指導を受けるなど小中高一貫したキャリア教育の推進が図られた。

(3) 就職者数の増加

①大学雇用及び企業等への就労

弘前大学教育学部附属小学校給食室への炊事員1名を含め企業等（雇用型1名含む）へ5名の就職が実現した。（高等部卒業生8名）

5 課題と今後の方策

今年度の事業を実施した結果，次の二つの課題が明らかとなった。今後の方策とともに記す。

(1) 関係機関との連携の一層の推進

①大学及び地域への学習の場の拡張

附属特別支援学校の学習の場として，教育学部以外の大学施設及び地域の公共施設等で実施する。

②地域の小中高，特別支援学校等の大学の活用

地域の小中高，特別支援学校等に対して，大学構内を学習の場として提供し，附属特別支援学校児童生徒との交流を図るなど大学を活用する。

③継続的なフォローアップ

就職支援コーディネーターと障害者就労・生活支援センター及び地域の特別支援学校進路担当者等と連携して，地域で就労している卒業生の定期的な巡回指導によるフォローアップを継続して実施する。

(2) 地域による障害者雇用の理解推進

①研修会の継続的な実施

事業所，保護者及び地域の小中高校，大学の教員等に対して障害者雇用制度及びその現状等に係る理解を一層推進するための研修会を継続して実施する。

②職場開拓及び職域開拓の促進

ハローワークとの連携による障害者雇用を前提とした事業所の開拓及び雇用事業所内での新たな職域開拓を行うことで障害者雇用の促進につなげる。